



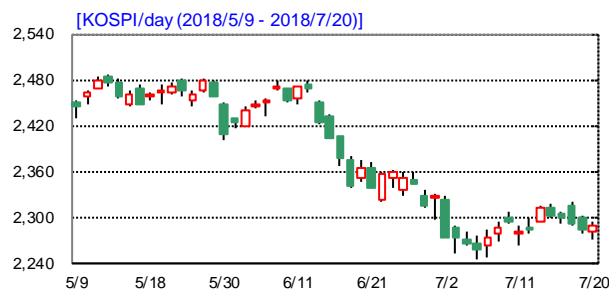
## 【韓国】 総合指数は週間で0.9%安と反落、今週は追加関税を巡る米中摩擦が重し

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.9%安と反落した。週を通じて軟調に推移した。中国経済の減速を示す経済指標の発表を受け、週初の16日に反落して始まると19日まで4日続落。17日には終値で節目の2300ポイントを割り込んだ。原油相場の急落を嫌気し、LG化学など関連株が売られ指数を押し下げた。

18日に韓国政府が2018年のGDP成長率や新規雇用者数の見通しを引き下げたと伝わり、景気減速への懸念が投資家心理の重しとなった。20日は通貨ウォンの対米ドル相場が一服したことや中国株の上昇を好感した買いが優勢となり、5営業日ぶりに反発した。ただ、節目の回復には至らなかった。今週は追加関税の応酬を巡る米中摩擦への警戒感が相場の重しになるか。26日に発表予定の韓国の4-6月期GDPの結果にも注目。

### ▼指数チャート

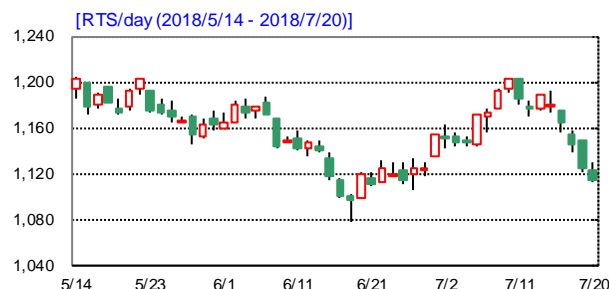


## 【ロシア】 RTS 指数は6.3%安と大幅に5週ぶり反落、今週は原油相場に要警戒

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は6.3%安と5週ぶりに大幅反落。原油安が嫌気されたほか、プーチン大統領とトランプ米大統領との会談で特段の成果がなかった点や米国による対ロ経済制裁の可能性が再び意識されたことが相場の重しとなった。週明けから原油相場が大幅に下落したのを受け、RTS指数も軟調にスタート。17日は前日に米ロ首脳会談が実現したものの、二国間関係の改善についての具体的な進展がなく、失望感につながった。米大統領選をめぐるロシアの介入問題で米上院が新たな対ロ経済制裁法案を準備していることも投資家心理を冷やした。週後半に原油相場が反発したものの、RTS指数は20日まで5日続落し、大幅に5週ぶりの反落となった。今週は原油相場の動向や米国による経済制裁の動きが引き続き懸念材料か。

### ▼指数チャート

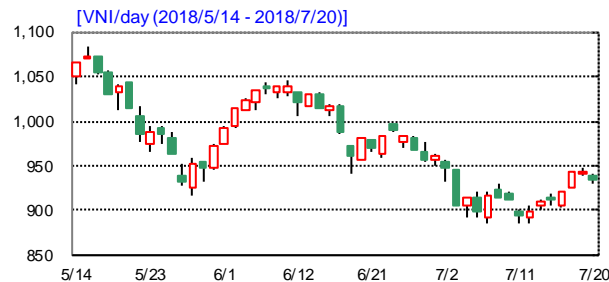


## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.6%高と6週ぶり反発、今週も堅調な値動きか

### 先週の動き／今週の展望

VN指数は2.6%高と6週ぶり反発。前週までの5週続落で押し目買いの動きが強まった上、新興国からの資金流出懸念が和らいだ。VN指数は前週に約8カ月ぶりの安値水準まで下落したが、前週後半からの買い戻しの流れが続いた。17日のパウエルFRB議長の議会証言では漸進的な利上げを継続する姿勢が示されたが、警戒したほどタカ派的ではなく、新興国市場からの資金流出懸念が和らいだことも安心感につながった。VN指数は前週の12日から19日まで6営業続伸。20日は利益確定売りに押されて反落したものの、週間では6週ぶりの反発となった。個別ではモール開発のビンコム・リテールが15.1%高、軍隊商業銀行が12.0%高と大幅に上昇している。今週は資金流出懸念の後退を背景に堅調な値動きが続くか。

### ▼指数チャート

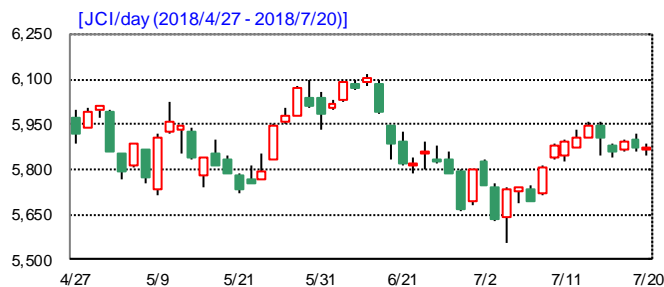


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.2%安、ルピア安の進行を嫌気**

ジャカルタ総合指数は週間で 1.2%安と反落。買い材料に乏しく、総じて軟調な値動きだった。週初の 16 日は、6 月の輸出額が市場予想を下回ったことが嫌気されて 6 営業日ぶりに反落。17 日は金融株が売られて、指数は終値で 5900 ポイントを割り込んだ。一方、18 日は FRB のパウエル議長が前日の議会証言で、今後の米国経済について楽観的な見方を示したことが好感されて反発したが、19 日は米ドルに対するルピアが 15 年 10 月以来の安値を更新した影響で反落。同日に中央銀行が開催した定例会合では、政策金利が 5.25%に据え置かれた。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。

### ▼指数チャート

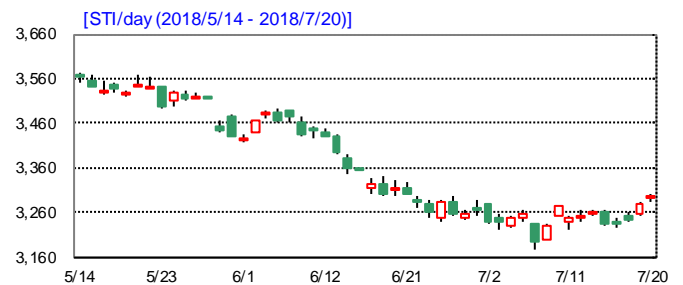


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.1%高、今週は 3300 ポイント回復に期待**

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.1%高と続伸。週初こそ反落したが、その後は堅調に推移し、じりじりと上値を広げた。16 日は決算発表シーズンを迎える期待感が高まる米国市場への資金流出が加速し、終値ベースで 3 営業日ぶりに下落してスタート。一方、17 日は 6 月の非石油地場輸出が市場予想から下振れたものの影響は軽微で反発した。地合いが好転する中、19 日に前日比 1.1%上昇すると、20 日には 3300 ポイント目前まで買われ、結局 4 日続伸して取引を終えた。今週は 23 日に 6 月の CPI、26 日に鉱工業生産が発表される。外部要因では 27 日に 4-6 月期の GDP 発表を控えた米株式相場の動向に注目。

### ▼指数チャート

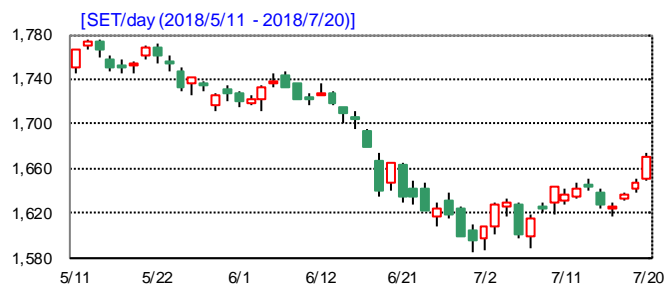


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.7%高、好決算の銀行株が指数上昇をけん引**

SET 指数は週間で 1.7%高と 3 週続伸。週半ばからの上昇が指数を支えた。16 日は中国の 6 月の鉱工業生産が市場予想から下振れした影響で、指数は終値で前週末に比べ 1.0%安と 3 営業日ぶりに反落。17 日も小幅に続落したが、18 日はエネルギー株が買われて反発した。20 日は前日に集中した 4-6 月期の銀行決算が軒並み好調だったことを受けて前日比 1.5%高と 3 日続伸し、約 1 カ月ぶりの高値を更新して引けた。同日に発表された 6 月の貿易収支（通関ベース）は 2 カ月連続の黒字だった。今週は国内の経済イベントが少ない中、上昇基調を維持できるかが焦点。27 日はアサラハブーチャ（三宝祭）のため休場。

### ▼指数チャート

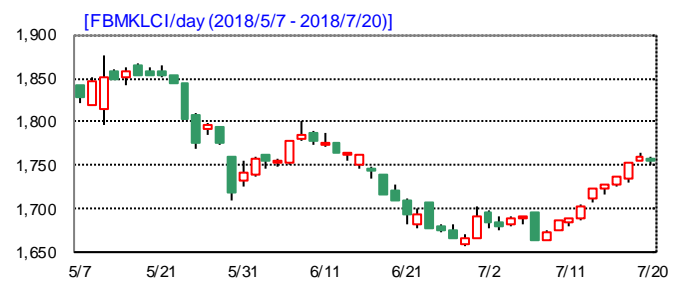


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.9%高、消費税廃止で物価上昇圧力が低下**

クアラルンプール総合指数は週間で 1.9%高と続伸。19 日まで 9 営業日続伸と堅調だったが、週末に利益確定売りで下落した。週前半は 6 月の CPI 発表を 18 日に控え、物価上昇圧力低下への期待感から指数は上昇。18 日は、6 月 1 日に消費税が廃止された効果で前年同月比の CPI 上昇率が 0.8%と 15 年 2 月以来の低い伸びとなったことが好感された。19 日はマハティール首相が、中止を検討していたマレーシアとシンガポールを結ぶ高速鉄道計画について、延期して実施する方針を示したことを受けて建設株が買われた。今週は国内の重要イベントが少ない中、外国人投資家による資金流出の減速が続けば追い風。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。